

令和5年度第3回千葉市部活動地域移行推進協議会 議事録

1 日 時 令和6年3月22日（金） 14時00分から15時30分まで

2 会 場 千葉市役所高層棟10階 教育委員会室

3 出席者

【委員】川名議長、小名木委員、阿部委員、山田委員、宮下委員、藤咲委員、三谷委員、本澤委員、野村委員

【事務局】教育指導課：八斗課長、竹治指導主事

保健体育課：桑田部活動地域移行担当課長、梅野主任指導主事、小山総括コーディネーター、中山主任主事

文化振興課：市倉課長、松田主査、矢田主任主事

スポーツ振興課：内谷課長、伊橋課長補佐、奈良担当課長補佐、篠田主査補、宮内主任主事

4 議 題

- (1) 情報共有
- (2) 実証事業の成果と課題
- (3) 生徒・児童等アンケート
- (4) 地域クラブ移行で目指す千葉市の将来像
- (5) その他

5 会議経過

○事務局（奈良担当課長補佐）

それでは、定刻になりましたので、ただいまより、第3回千葉市部活動地域移行推進協議会を始めさせていただきます。本日の進行を努めます、スポーツ振興課の奈良でございます。なお、会議終了後、議事録の作成を行い、本市のホームページで公開いたしますので、あらかじめ御了解ください。それでは、開会にあたりまして、議長である学校教育部長からご挨拶を申し上げます。

○川名議長

改めまして皆様こんにちは。お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。また、日頃より本市の教育行政に、ご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。今回で、この部活動地域移行推進協議会が第3回となり、これまで皆様から様々な意見をいただいたことで少しずつ推進が図れていると思っております。この部活動地域移行は、全国的な話題となり、マスコミも非常に注目している取組みです。全国大会にクラブチームが出場したという報道もあれば、熊本市は部活動を継続する、掛川市は平日の地域移行にも取り組むといった、各都市の地域移行の方向性に関する報道もございます。また、直近の報道では、柏市では小学校の部活動を廃止して、地域の受け皿に委ねるといった報道もあり、地域移行の機運の高まりを感じております。この後にも、事務局から提案がありますが、次年度においては、60部活を対象に実証事業を進めていく予定ですが、学校からはその倍近くの申込みがあったという

ような状況です。地域移行について、学校現場の理解や期待が高まる一方で、課題はまだ山積していると認識しています。今回の協議会では、今年度において実施した実証事業の成果や課題について、また、前回の協議会で皆様からご意見をいただいた生徒や保護者を対象としたアンケートについて、さらには、令和6年度の地域移行について議題とさせていただきたいと思っております。本日も、どうぞよろしくお願い致します。

○事務局（奈良担当課長補佐）

ありがとうございました。議事進行につきましては、議長である川名部長にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

○川名議長

それでは、次第における議題について、事務局から説明をお願いします。また、「1情報共有」にて、事務局の説明が終わりましたら、各団体で共有すべき事項についてお話いただき、質疑応答の時間を取らせていただきます。それでは、事務局の説明をお願いします。

○事務局（奈良担当課長補佐）

配付しております資料に沿って各担当から説明させていただきます。議題の「1情報共有」について、まず、地域指導者の確保に向けた取組みについて、教育委員会及び市民局それぞれについてご説明いたします。まず、「大学生・専門学校生を対象とした取組み」について教育委員会から説明をお願いします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

保健体育課の桑田でございます。よろしくお願ひいたします。地域移行につきまして、指導者の確保が大きな課題の一つではありますが、市内の各大学に赴き、教授の方々等へ地域移行の取組みについて紹介させていただき、学生への周知をお願いしているところであります。現在までに、千葉大学や淑徳大学、敬愛大学にご協力いただき、「ちばクラサポ（千葉県地域クラブ活動等人材バンク）」には30人近くの学生に登録いただいたところです。4月になると、新学期が始まりますので、そういったタイミングも狙って周知を図っていきたいと考えています。千葉県全体では、「ちばクラサポ」に700人以上の登録があり、約260人の方々が千葉市を活動可能な地域として登録いただいております。また、会議資料として配付させていただいているチラシを大学生向けに配付し、周知を図っているところでございます。以上になります。

○事務局（奈良担当課長補佐）

続きまして、市民局の取組みについてですが、スポーツの取組みに関してスポーツ振興課より説明させていただきます。地域で活動するスポーツ団体に対して、中学生の受入れ状況や今後の受入れ意思、条件について、また、部活動や地域での指導可能な方々の有無等について把握すべく、会議資料として配付させていただいたアンケートを各団体に配付し、実態把握に努めております。まず、学校体育施設開放利用団体向けのアンケートについてですが、2月3日に開催された学校体育施設開放運営委員会の事務担当者会議にて、各学校の事務担当者160名に各学校の利用団体分のアンケートを配付し、全ての利用団体に配付していただくようお願いしました。千葉市では1,000団体ほどが活動しておりますが、3月20日時点で回答数は234件となっております。また、千葉市スポーツ協会、千葉市スポーツ少年団、千葉市少年スポーツ連盟にもアンケートを配付しており、現在の回答数は43件となっております。現状の集計結果によると、現在、中学生を受け入れている団体が64団体、また、今後受け入れてもよいと考えている団体が93団体ほどございます。また、地域指導者として指導可能な方は234人ほどいらっしゃいま

す。今後、「ちばクラサポ」への登録にご協力いただけるよう周知を図っていきたいと思います。その他にも、地域移行について、子ども達のために協力したいという意見が多かったです。今後、アンケートの集計結果を整理し、地域で活動するスポーツ団体や地域人材について取りまとめを行い、地域クラブの将来像を検討していく上での検討材料にしたいと考えています。続きまして、文化に関して文化振興課よりお願いします。

○事務局（市倉文化振興課長）

文化振興課の市倉でございます。私の方からは、文化の取組みに関して報告させていただきます。スポーツと同様に、文化系の団体に対しまして中学生の受入れ状況、今後の受入れの意思や条件等、また、部活動や地域での指導可能な方々の有無等について調査すべく、アンケートを配付しております。公民館及びコミュニティセンターの利用団体を対象としておりまして、3月中を目途に回収を行う予定です。回答結果につきましては、スポーツと同様に整理をしまして、今後の将来像を検討していく上での材料にしたいと思います。報告は以上でございます。

○事務局（奈良担当課長補佐）

続きまして、千葉市スポーツ推進審議会での提言について、スポーツ推進課長から説明をお願いします。

○事務局（内谷スポーツ振興課長）

スポーツ振興課の内谷です。先日、千葉市スポーツ審議会が開催されまして、そちらの方で地域移行についての提言がなされております。提言の内容としては、「部活動地域移行を進めていくにあたっては、少子化・本市の地域的特徴・運動習慣の二極化・指導者の資質向上といった課題が想定される。そうした課題等を踏まえ、将来にわたって、本市の子どもたちがスポーツに携われる環境が構築されるよう、部活動地域移行の将来像や各施策を検討・実施されたい。」となっております。報告は以上となります。

○事務局（奈良担当課長補佐）

本市からの情報共有は以上となります。

○川名議長

ありがとうございます。それでは、情報共有事項に関して、ご質問がございましたら、挙手していただき、ご質問をお願いいたします。大丈夫そうでしょうか。それでは、引き続き、「2実証事業の成果と課題」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

※別紙「会議資料（P 3～7）」に沿って説明

※別紙「部活動の地域クラブ移行実証事業効果測定調査」に沿って説明

○川名議長

只今事務局から説明がありましたが、この件につきまして、皆様からご質問などをいただきたいと思えます。

○阿部委員

保護者の費用負担について、「無償・費用負担ができない」と回答した保護者が28.6%のため、4分の1の保護者が費用負担はできないと回答しておりますが、将来的に国からの補助金等が見込めなくなった際に、費用負担は避けて通れないと思います。現時点で、千葉市としてどの程度の費用負担を想定しているか見込などがあれば教えていただきたいです。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

どのような体制で千葉市として地域移行を進めていくかが定まっていないため、現時点では、費用負担の見込みは出せない状況です。なお、柏市では、指導者の報酬を生徒の参加費で賄うというような体制を整備しており、月額2,000円となっています。また、それに加えて年会費として5,000円の支払いが必要になっています。その他に、柏市から運営団体に補助金を交付しています。千葉市とは規模が異なりますが、同じような仕組みをとるのであれば、似たような形になると思います。

○阿部委員

費用負担について、参加するクラブの種目や規模によって会費が異なることはあるのでしょうか。また、兼職兼業で教職員が指導者となった際の報酬の取扱いはどのようになるのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

これについても、未定の状況ですが、他市の事例では、会費についてはどの地域クラブに参加しても同じ金額になっています。また、指導者についても、種目や生徒数が異なっても同じ報酬額となっています。なお、指導者につきましては、メインの指導者とサポートで入る指導者で報酬に差を設けている事例もございます。どのような体制が望ましいかについては、今後、検討を行っていく必要があります。

○宮下委員

兼職兼業の件について、地域移行に伴い千葉市でどのような制度改正があったのか、また、地域クラブ活動について、地域で活動している団体へ生徒が参加するという仕組みではなく、従来の学校での活動場所に指導者が参加する仕組みを想定されているのか、その辺について教えていただければと思います。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

兼職兼業の件ですが、制度改正前においても地域クラブの指導者として活動することは可能でしたが、地域移行においては、従事者の数が非常に多くなると想定されたため、申請手続きを簡略化しております。また、地域クラブの在り方についてですが、休日の部活動へ地域の指導者又は兼職兼業の教職員を派遣するような形での活動を想定しています。新たな地域クラブを設立するというような考え方もありますが、千葉市の規模を考えると、現実的ではないと考えております。

○三谷委員

生徒へのアンケート結果では、約3割の生徒について、指導者の指導方法が自分に合わなかったと回答しており、休日だけ活動に参加しなくなるような子が出てこないか心配です。また、先生については、休日の指導者との連携が大変だったという回答もあります。運用の在り方についての問題点かと思いますが、この辺について何かしらの改善策等がありますでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

今回、実証事業を行った部活動において、その種目の専門ではない顧問教諭が対応していた部活動に、地域の指導者が入ったことで、練習がこれまでよりも厳しくなってしまったため、合わないと感じてしまった生徒がおりました。現状の部活動でも同じような問題はございますが、生徒からそのような相談が学校等にあった際は、しっかりと対応していきたいと思っております。また、先生の不満感についてですが、体育館を使用する種目については、他の部活動とのスケジュール調整等が大変だったという話を聞いております。この点については、完全地域移行になった際には、体育館のスケジュール調整等も含めて運営団体をお願いをする形になりますので、改善されると考えております。また、学校との連絡・調整の効率化を図るため、電話だけではなく、アプリ等の活用も検討しています。

○宮下委員

1校の部活動を全て地域移行とした際に、兼職兼業により顧問教諭が引き続き対応する部活動とそうでない部活動が併存する形になると思いますが、生徒に不安感が生じないでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

その辺は、来年度の実証事業において検証していきたいと考えております。なお、今年度のアンケート結果を見る限り、専門の指導者に指導してもらえたことに対して、非常に満足している生徒も多数いるため、生徒としては、顧問教諭からの指導についてそこまでこだわっているとは思っておりません。

○川名議長

他になければ、次の議題である「3生徒・児童等アンケート」について、事務局の方で説明をお願いいたします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

※別紙「会議資料（P8）」に沿って説明

※別紙「部活動の地域クラブ移行に関する意識調査」に沿って説明

○川名議長

只今ご説明いたしました、事務局において、今回のアンケート結果を踏まえ、浮かび上がってきた課題や方向性等がありましたら、教えてください。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

小学生については、現状、進学予定の中学校に入りたい部活がない場合は、他の部活を選択しています。同じ千葉市に住んでいるのに、住む場所によって部活動の選択肢が異なってしまうため、その辺を地域クラブ活動で解消できないか検討してまいります。

○本澤委員

アンケートにおいて、保護者に対して地域指導者として活動する意向を調査されていますが、保護者へは「ちばクラサポ」への登録等は促しているのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

現時点では、意識調査の段階のため、登録は促しておりません。保護者の皆様や小学校の教員等へのアプローチの仕方については、現在、検討しているところであります。

○川名議長

保護者は、誰が回答したか特定できるのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

特定はできません。

○川名議長

了解しました。他に、質問等はないようですので、事務局の方から次の議題である「4 地域クラブ移行で目指す千葉市の将来像」について説明をお願いします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

※別紙「会議資料（P9～10）」に沿って説明

○川名議長

只今ご説明いたしました、この件につきまして、皆様からご質問等をいただきたいと思っております。

質問は大丈夫そうでしょうか。それでは、事務局の方から、次の議題である「5その他」について説明

をお願いします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

※別紙「会議資料（P 1 1）」に沿って説明

○川名議長

令和6年度実証事業の実施予定時期は決まっているのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

生徒や学校現場に混乱が生じないように、夏の総合体育大会が終わった頃から開始し、2月末頃まで実施したいと考えています。

○川名議長

令和5年度実証事業よりも2～3か月程度、開始時期が早まるような予定ですね。了解しました。

それでは、今回が、今年度の最後の会議になりますので、委員の皆様かお一言ずつご挨拶をお願いできればと思います。

○阿部委員

今後、地域移行を進めていく中で、生徒の怪我やトラブルへの対応、レギュラー決め等で様々な問題が生じると思いますが、適宜、解決策や予防策等を整備していただければと思います。また、来年度の実証事業について、希望する学校が多かったとのことですが、学校現場としては、それだけ困っているということなので、そういった学校に指導者を派遣することで学校現場の負担を解消していただければと思います。

○山田委員

千葉市小中学校体育連盟の代表として会議に参加させていただきましたが、学校現場としては、夏の総合体育大会までの時期や、各種大会への引率等への対応についても地域の指導者をお願いしたいというような要望もございます。その辺についても、今後、この取組みを進めていく中で検討していただければと思います。まだまだ、課題は山積していますが、やらないことには進んでいかないので、皆様と知恵を絞って進めていければと考えております。

○藤咲委員

会議では、色々と質問させていただきましたが、丁寧にご回答いただきありがとうございました。組合としては、指導に携わりたい教職員は携わることができ、そうでない教職員には無理強いをしないというようなスタンスであります。引率の問題等、課題は多いと思いますが、教職員の意見等をしっかりと聞きながら進めていただければと思います。

○三谷委員

一年間ありがとうございました。毎回、会議に出席するたびに、地域移行がどんどん形になってきていると感じております。ただ、保護者は、地域移行の取組みを理解されていない方が多いのが現状です。そもそも、部活動の仕組みや教職員の負担についても理解されていない方も多いです。こういった取組みについて、理解される保護者が増えてくると、協力者が増えたり、学校への否定的な意見がなくなったりすることがあると思いますので、今後も、保護者の理解のための取組みを行っていただければと考えております。

○宮下委員

一年間ありがとうございました。いろいろな情報をいただき、今後どのような取組をすべきか音楽の立

場から考えさせていただきました。吹奏楽に特化すると、地域性にもよりますが、部活動のガイドラインが示された頃から、ガイドラインを超えた時間分については、保護者を主体とした社会教育の一環として活動する部活動（部活動と区別するために名称を〇〇クラブと変えているところが多い）も存在しています。千葉県内では、地域移行に伴い、合同バンドや地域の指導者の派遣、拠点校方式での活動等、様々な取組を行っていますが、地域によって活動形態に差があるため、全体的な方向性は定まっていない状況です。千葉市内の地域移行の取組について、現状、大きな成果は出せておりませんが、研修会や演奏会等の交流の場を通して、情報交換等ができたのではないかと感じております。一年間ありがとうございました。

○本澤委員

一年間ありがとうございました。アンケートの結果等をご紹介いただき、千葉市における地域移行の実態について深く理解することができました。アンケートの結果等を踏まえ、推進委員に対して周知を図り、取組みへの協力をお願いしたいと思います。

○野村委員

千葉市スポーツ協会といたしましては、今年度の実証事業において、柔道、剣道、野球の種目に携わらせていただきました。千葉市スポーツ協会も、千葉ポートアリーナを使用する団体に対して、アンケートを実施しており、その結果と今回のアンケート結果にギャップを感じた面もございますが、まだ、実証事業も始まったばかりですので、引き続き、色々な方々の意見を聞きながら進めていただければと思います。また、山田委員からもお話がありましたが、大会の運営や引率等の問題をどうするかが課題だと感じています。現場の声を聞くと、完全地域移行となった際に、大会についても指導者が対応するとなってしまった場合、絶対に上手くいかないという意見が多いです。それから、受益者負担の件についてですが、費用負担について8,000円以上でも差し支えないと回答している場合は、さすがに地域クラブ活動でそこまでの費用負担は現実的ではないと思いますので、クラブチームへの加入の方が望ましいのではないかと感じました。

○小名木委員

一年間ありがとうございました。今年度の協議会において、様々な課題が浮かび上がってきましたが、これまで議論してきた内容を踏まえ、次年度以降も内容を煮詰めていっていただき、生徒さん達にとって望ましい活動の環境を整備していければと考えております。

○川名議長

皆様ありがとうございました。地域移行という言葉が先走り、形がない中で担当部署を設け、形のないものを千葉市として形作ってきたという一步が踏み出せた印象はありますが、やればやるほど課題が出てきてしまいます。来年度は、今年度の実証事業の課題を踏まえながら、それを解決していくために、また一步を踏み出すような年度になると考えております。一年間ご尽力いただきありがとうございました。それでは、協議内容については以上となります。事務局に進行をお返しします。

○事務局（奈良担当課長補佐）

長時間にわたり、議論いただきありがとうございました。次年度の会議につきましては、新年度に入りましたら、またご案内いたします。以上を持ちまして、第3回千葉市部活動地域移行推進協議会を閉会いたします。1年間、議論いただきまして、誠にありがとうございました。